

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第6回理事会 開催日：2月21日。出席者：荒木会長，ほか 50 名。

1. 定款中一部変更の件

定款第5条第1項第3号「調査，研究，建議そのほかの公益事業」を「調査，研究，情報の収集および提供，標準化，建議そのほかの公益事業」に変更することが承認された。

2. 高温強度研究委員会の新設およびクリープ委員会の解散の件

昭和 55 年 3 月 1 日付にて高温強度研究委員会の新設とクリープ委員会の解散が承認された。

3. 俵賞授賞者決定の件

的場幸雄前会長を俵賞授賞者に決定し，4 月 3 日の総会の際に授与式を行うことになった。

企 画 委 員 会

第6回委員会 開催日：2月19日。出席者：細木委員長，ほか 22 名。

1) 支部補助金の件

一部の支部より支部補助金増額の要請があつた。日本金属学会と協議した上で，さらに検討することになった。

2) 日・チェシンボジウム協定書作成の件

1981 年日本で開催予定の日・チェシンボジウムの協定書ができ上り，先方に送付することになった。

3) 日・ソシンボジウムの件

1981 年日本で開催予定の日・ソシンボジウムの準備を開始したいので了承願いたいと事務局より要請があり承認された。

研 究 委 員 会

昭和 55 年度第1回委員会 開催日：1月22日。出席者：中川研究委員長，ほか 22 名。

1. 議題

1) 講演「最近の日本鉄鋼業の進歩」

新日鉄取締役開発部長 細木繁郎氏

2) 共同研究問題懇談会材料グループ報告

3) 日本压力容器研究会議材料部報告

4) その他

(a) 重要課題検討小委員会加工グループ報告

(b) 重要課題検討小委員会製錬グループ報告

上記報告がそれぞれの主査から行われた。

本年第1回の研究委員会では，80年代の鉄鋼生産に焦点を絞り，今後活動していくことを申し合せた。

編 集 委 員 会

第7回委員会 開催日：2月15日。出席者：田中委員長，ほか 18 名。

昭和 55 年度俵論文賞の選考を行つた。候補として推

薦された論文 31 件を対象に検討し，5 件を受賞論文として決定した。

第12回和文会誌分科会 開催日：2月1日。出席者：田中主査，ほか 14 名。

1. 7 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 6 件，照会后掲載可 1 件であつた。

第12回欧文会誌分科会 開催日：2月5日。出席者：大森幹事，ほか 8 名。

1. 3 件の論文について審査報告がなされ，掲載可 2 件，一旦返却 1 件であつた。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，1 件の研究論文と 2 件の Technical Report を勧誘することとなつた。

共 同 研 究 会

コークス部会

第19回部会 開催日：12月6，7日。出席者：研野部会長，ほか 127 名。

新日鉄・大分で開催された。共通議題Ⅰ「石炭コークスの品質管理の現状と問題点並びに将来の展望」として 9 件，共通議題Ⅱ「化工部門の省エネルギーの現状と問題点並びに将来の展望」として 10 件，自由議題として CDQ 関連 3 件，窯づまりについて 1 件の報告があつた。会議終了後大分製鉄所，コークス工場，第2高炉の見学が行われた。次回は住金，和歌山で開催の予定である。

計 測 部 会

第73回部会 開催日：11月13，14日。出席者：藤田部会長，ほか 149 名。

鋼管・京浜にて開催，提出資料は計 36 件であつた。会議終了後，京浜（扇島）製鉄所熱延工場と，エネルギーセンタの見学が行われ，盛会であつた。次回は横河電機で開催の予定である。

設 備 技 術 部 会

第21回鉄鋼設備分科会 開催日：11月29，30日。出席者：宮嶋主査，ほか 165 名。

鋼管・京浜（会議は本社）で開催された。アンケート議題「製鉄保全体制」と自由議題「焼結関連」12件が報告された。会議後，京浜（扇島）製鉄所，第2高炉，エネルギーセンタの見学が行われ盛会のうちに終了した。次回（22回）は三菱重工・広島で開催の予定である。

ク リ ー プ 委 員 会

第11回高温熱疲労試験分科会 開催日：2月12日。出席者：雑賀主査，ほか 14 名。

次のように議事が進められた。

1. 高温熱疲労試験共同研究試験計画作成に関するア

ンケート回答結果報告について

2. Incoloy 800 合金について講演

神鋼・中研 委員 太田定雄氏

3. 共同研究計画(案)について

これはアンケート回答結果をもとに幹事側で作成したが、試験計画の問題点が明確でないところから賛同を得るに至らなかった。

4. 超耐熱合金の高温強度および設計の現状に関する勉強会計画について

既存のデータを極力収集して量の確保と問題点の勉強会について同意が得られた。とくにこの勉強会は共同研究実施との関連性を保ちながら進めることが了承された。

その他 Incoloy 800 関係の外国文献リストが披露された。

鉄鋼標準試料委員会

第 54/V 回鉄鋼標準試料委員会常任委員会

開催日: 1月29日. 出席者: 川村委員長, ほか 14 名.

1. 標準化シリーズAのチェック分析結果の報告.
2. 標準試料製造予定の報告.
3. 細則類改定の審議.
4. JSS の機器分析用標準試料に関する紹介記事を X-RAY SPECTROMETRY 誌へ投稿する件.

材料研究委員会

第 32 回委員会 開催日: 1月18日. 出席者: 金沢委員長, ほか 10 名.

1. 昭和 55 年度研究テーマ
 - 第 1 候補「破壊靱性」
 - 第 2 候補「 γ 再結晶について」, 「偏析」
2. 「焼入性の評価方法」最終報告書

各委員より振出された粗原稿に説明と検討が加えられ

3月末までに幹事がとりまとめを行い, 5月に発刊の予定.

3. 委員会報告

「鉄と鋼」への投稿内容について目次と執筆担当を決定した。

鉄鋼基礎共同研究会

運営委員会

54年度第2回委員会 開催日: 1月28日. 出席者: 荒木会長, ほか 19 名.

1. 昭和 54 年度第 2 回共研総務幹事会の議事確認.
2. 昭和 54 年度上半期予算使用実績報告
3. 昭和 55 年度共研予算案審議及び決定承認
4. その他
 - (1) 「エネルギー対策調査研究」について
 - (2) 「圧延に関する国際会議」進捗状況報告

高温変形部会

第 13 回部会 開催日: 2月8日. 出席者: 田村部会長, ほか 29 名.

1. 講演
 - (1) 硫黄による鋼の過熱脆化
 - (2) 18-8ステンレス鋼の高温変形による結晶粒の挙動およびフェライトと結晶粒の関係
 - (3) フェライト・オーステナイト 2 相ステンレス鋼の熱間加工性
 - (4) 連続鑄造 SU3 310S スラブの熱間加工性
2. シンポジウム開催

「制御圧延技術の基礎とその展開」
昭和55年3月26日(水) 9:00~17:00
新丸ビル地下大会議室
3. 研究予算

昭和 55 年度基共研高温変形部会研究費の決定報告

お 知 ら せ

本会第 99 回講演大会における講演中下記の通りお申し出がございましたのでお知らせいたします。

本誌第 66 年第 4 号の第 99 回講演大会講演概要に掲載の下記論文は都合により第 99 回講演大会での発表を撤回させて載きましたので、御連絡致します。

論文名 (353) '80-S 381 ページ

「耐硝酸塩応力腐食割れにすぐれた熱風炉鉄皮用炭素鋼の開発」

住友金属工業株式会社